



2010年2月期 第2四半期決算説明資料

2009年10月23日

**株式会社スーパーバリュー
(JASDAQ:3094)**



1. 当社の概要



- 1) スーパーバリューとは・・・
- 2) 当社の特長
- 3) 基本戦略

① スーパーバリューとは・・・

SM × HC =

食品スーパー

(複合)

ホームセンター



都市型スーパーセンター

【埼玉】
8店舗

8 5
10 11 3 9 2
1

注) 番号は出店順

【東京】
3店舗

4 12
7

【千葉】
1店舗

6

【神奈川】

【埼玉】

- ①草加店
- ②越谷店
- ③戸田店
- ④春日部武里店
- ⑤上尾愛宕店
- ⑥川口前川店
- ⑦入間春日町店
- ⑧東所沢店(7月1日開店)

【東京】

- ④練馬大泉店
- ⑦杉並高井戸店
- ⑫荒川一丁目店(10月1日開店)

【千葉】

- ⑥南船橋店

【地域別連結売上高構成】

(2010年2月期 第2四半期累計期間)

千葉県

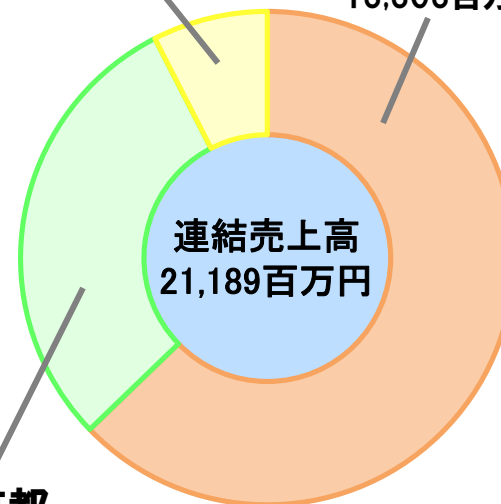
1,596百万円 / 7.5%

埼玉県

13,303百万円 / 62.8%

東京都

6,289百万円 / 29.7%

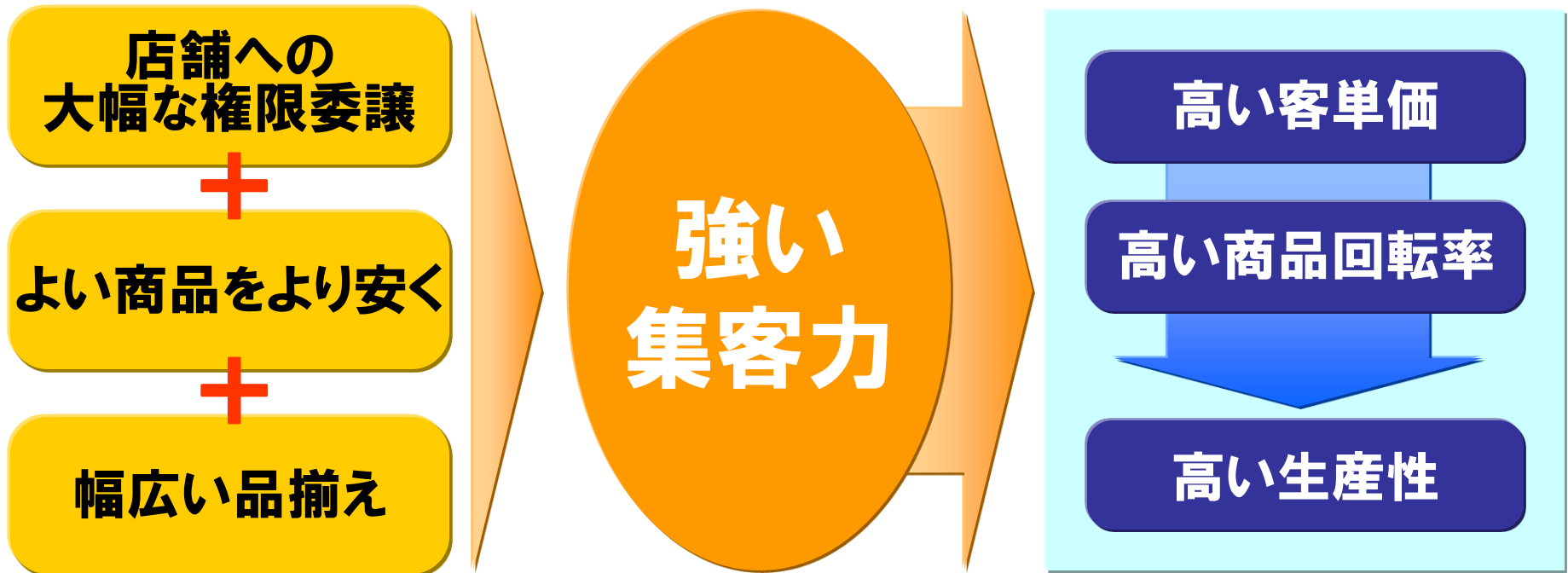


連結売上高
21,189百万円

② 当社の特長 ① 基本的な特長

SM・HC複合型の雄

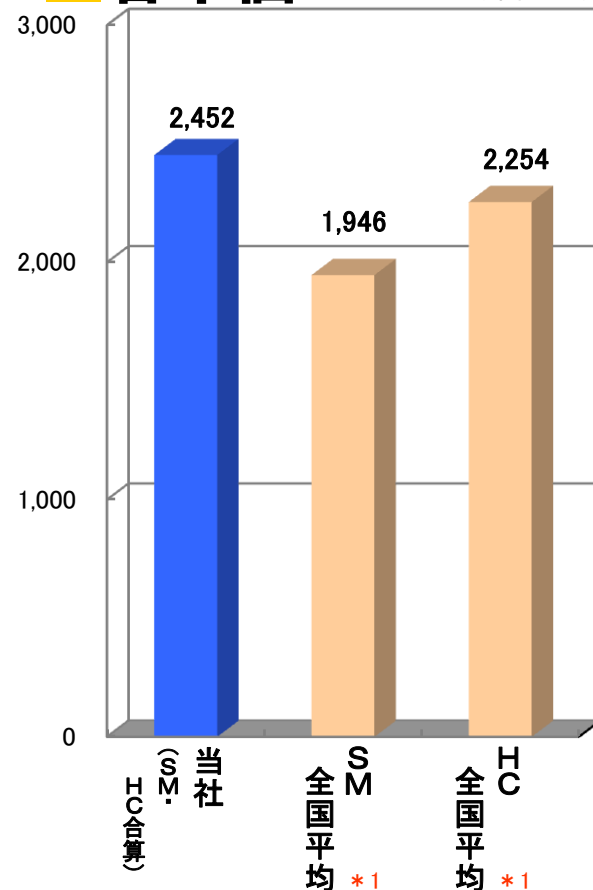
SM・HC複合型店舗を展開する企業の中で
収益性のあるビジネスモデルを確立している企業は稀有



② 当社の特長 ②同業比較

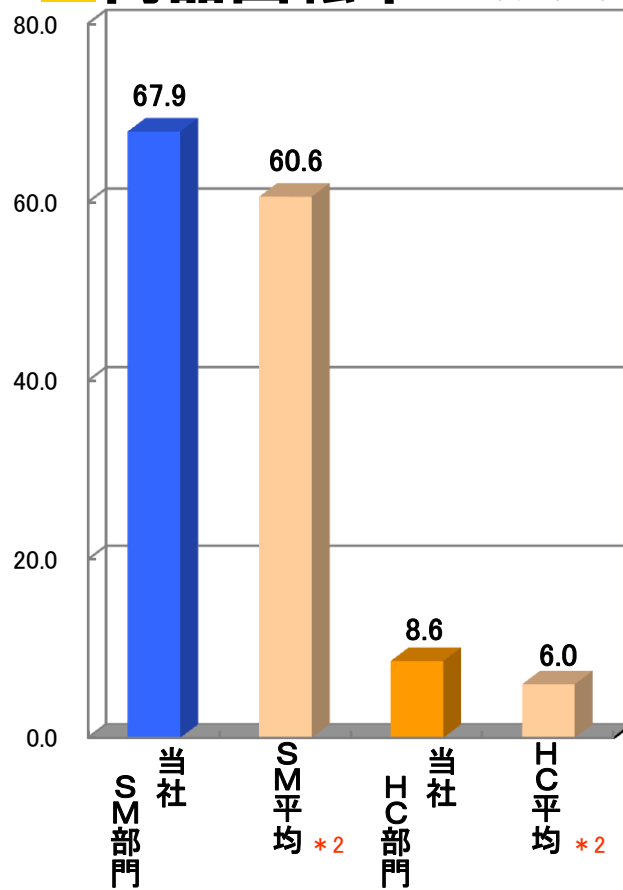
客単価

(単位:円)



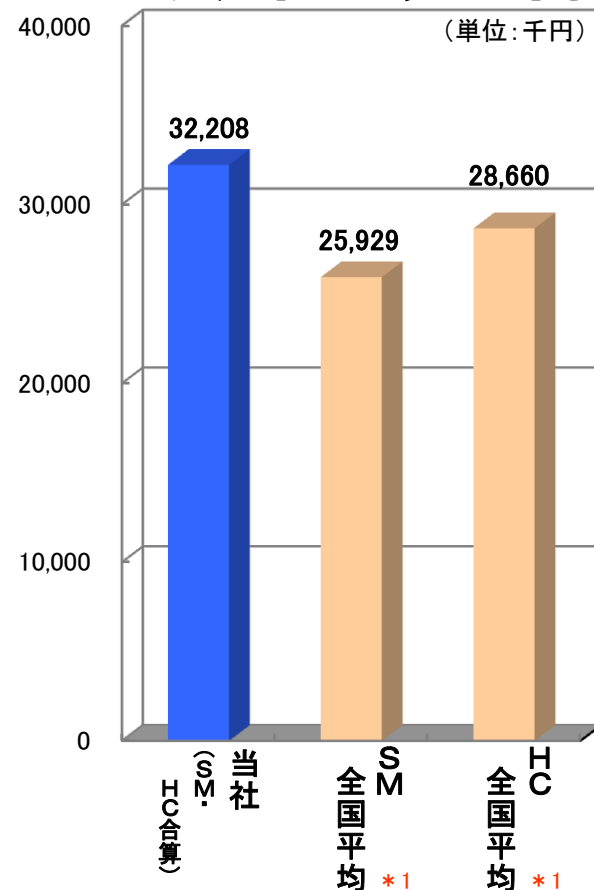
商品回転率

(単位:回/年)



1人当たり売上高

(単位:千円)



注1) 当社実績数値は2009年2月期データ 注2) 「*1」の数値は(社)日本スーパーマーケット協会(2008年)及び(社)日本DIY協会(2007年)より

注3) 「*2」の数値は以下の基準で選定した会社の有価証券報告書等より集計

SM: (株)日本経済新聞社「第41回日本の小売業調査」のSM業態区分「地方スーパー」上位10社のうち上場会社8社と当社と競合する主な上場会社6社

(イオン北海道(株)、(株)タイヨー、(株)サンエー、(株)ヤマナカ、(株)関西スーパーマーケット、(株)天満屋ストア、(株)ユニバース、相鉄ローゼン(株)、(株)マルエツ、(株)ヤオコー、(株)エコス、(株)ベルク、(株)マミーMarkt、(株)オオセキ)

HC: (株)日本経済新聞社「第41回日本の小売業調査」のHC業界上位より上場会社11社(持株会社上場会社含む)と当社と競合する主な上場会社1社

(コーナン商事(株)、(株)コメリ、(株)ナフコ、(株)ケーヨー、ホームマックス(株)、(株)カーマ、トステムビバ(株)、(株)MrMax、アークランドサカモト(株)、ダイキ(株)、(株)PLANT、(株)セキチュー)

③ 基本戦略 ローコスト経営

常に競合店を上回る価格競争力

これを実現している
基本戦略

- 売上総利益率を下げて集客と売上を拡大する路線
- これを可能とする「ローコスト経営体質」の追求

【売上総利益率の競合比較】

当社グループ（09年2月期）		業界平均（競合上場会社）	
SM事業部	20.2%	25.9%	SM業界
HC事業部	22.5%	28.3%	HC業界

【売上高販管費率の競合比較】

当社グループ（09年2月期）	業界平均（競合上場会社）
18.8%	26.0% SM業界
	26.2% HC業界

注）業界平均の数値は以下の基準で選定した会社の有価証券報告書等より集計

SM: (株)日本経済新聞社「第41回日本の小売業調査」のSM業態区分「地方スーパー」上位10社のうち上場会社8社と当社と競合する主な上場会社6社

(イオン北海道(株)、(株)タイヨー、(株)サンエー、(株)ヤマナカ、(株)関西スーパーマーケット、(株)天満屋ストア、(株)ユニバース、相鉄ローゼン(株)、(株)マルエツ、(株)ヤオコー、(株)エコス、(株)ベルク、(株)マミーマート、(株)オオセキ)

HC: (株)日本経済新聞社「第41回日本の小売業調査」のHC業界上位より上場会社12社(持株会社上場会社含む)と当社と競合する主な上場会社1社

(コーナン商事(株)、(株)コメリ、(株)ナフコ、(株)ケーヨー、ホームック(株)、(株)島忠、(株)カーマ、トステムビバ(株)、(株)MrMax、アークランド・サカモト(株)、ダイキ(株)、(株)PLANT、(株)セキチュー)



2. 決算概況と取り組み



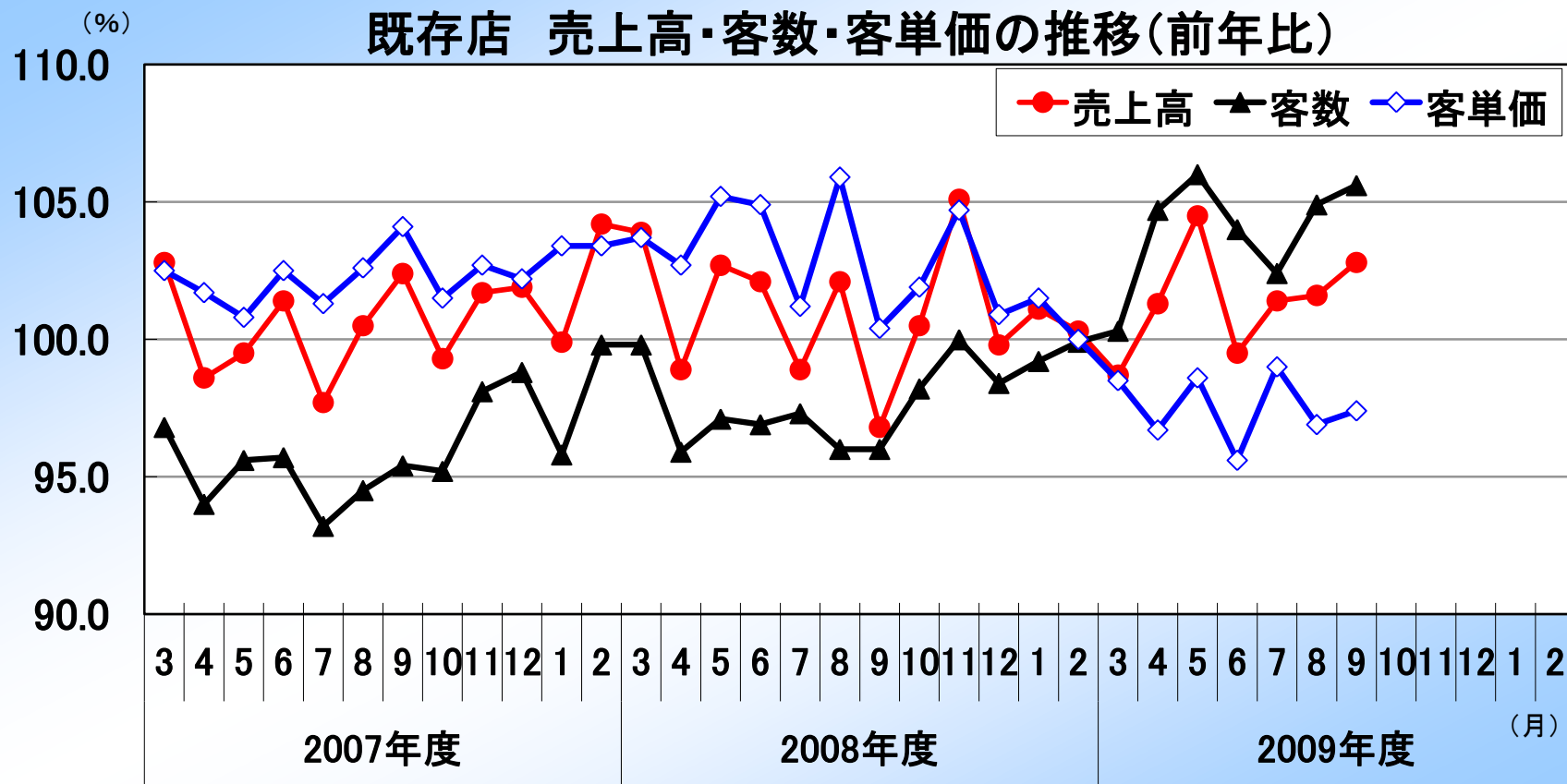
- 1) 決算ハイライト
- 2) 既存店の状況
- 3) 売上の状況
- 4) 四半期の状況
- 5) コストの状況
- 6) 設備の状況／従業員の状況
- 7) 要約貸借対照表
- 8) 要約キャッシュ・フロー計算書

1 決算ハイライト

単位: 百万円、%

<連結>	2008年2月期 中間会計期間		2009年2月期 中間会計期間		2010年2月期 第2四半期累計期間		
		百分比		百分比		百分比	前年 同期比
売上高	18,042	100.0	18,299	100.0	21,189	100.0	+ 15.8
売上総利益	3,615	20.0	3,760	20.6	4,220	19.9	+ 12.2
営業収入	187	1.0	169	0.9	148	0.7	△ 12.2
営業総利益	3,802	21.0	3,930	21.5	4,369	20.6	+ 11.2
営業利益	564	3.1	533	2.9	597	2.8	+ 12.1
経常利益	475	2.6	460	2.5	520	2.5	+ 13.0
四半期純利益	281	1.6	276	1.5	290	1.4	+ 5.4
総資産	17,120	—	19,338	—	19,091	—	△ 1.3
純資産	1,438	—	2,499	—	3,035	—	+ 21.4
1株当たり 四半期純利益	156.40円	—	131.53円	—	138.57円	—	+ 5.4
1株当たり純資産	794.14円	—	1,183.67円	—	1,438.66円	—	+ 21.5

② 既存店の状況



出退店
の状況

- 出店 : 東所沢店(7月)
- 退店 : なし
- 改装 : なし

既存店
売上高
の状況

10/2期 第2四半期 累計期間	前年同期比
既存店売上高	101.2%
客数	103.7%
客単価	97.5%

③ 売上の状況 事業部門別売上高・売上総利益率

単位:百万円、%

<連結>	2008年2月期 中間会計期間			2009年2月期 中間会計期間			2010年2月期 第2四半期累計期間			
	売上高	百分比	売上総 利益率	売上高	百分比	売上総 利益率	売上高	百分比	前 年 同期比	売上総 利益率
連結合計	18,042	100.0	20.0	18,299	100.0	20.6	21,189	100.0	+ 15.8	19.9
SM事業部	12,095	67.0	19.1	12,324	67.4	19.6	14,952	70.6	+ 21.3	19.1
生鮮食品	5,849	32.4	22.8	6,071	33.2	23.2	7,365	34.8	+ 21.3	22.4
グロサリー	6,245	34.6	15.6	6,252	34.2	16.2	7,587	35.8	+ 21.3	15.9
HC事業部	5,947	33.0	22.0	5,974	32.6	22.4	6,236	29.4	+ 4.4	21.9
第一グループ※	1,010	5.6	27.7	1,056	5.8	27.7	1,115	5.3	+ 5.6	27.4
第二グループ※	1,499	8.3	22.0	1,557	8.5	22.5	1,636	7.7	+ 5.1	22.4
第三グループ※	3,171	17.6	20.2	3,140	17.1	20.6	3,269	15.4	+ 4.1	19.8
第四グループ※	131	0.7	12.3	107	0.6	12.3	110	0.5	+ 3.4	11.5
その他	134	0.8	32.7	112	0.6	32.0	104	0.5	△ 7.7	31.7

※「第一グループ」:日曜大工・園芸・エクステリア用品 「第二グループ」:カー・レジャー・ペット用品 「第三グループ」:家電製品、対面(時計・カメラ等)、インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具、玩具、ドラッグ 「第四グループ」:リフォーム

4 四半期の状況

単位: 百万円、%

<連結>	2009年2月期 中間会計期間			2010年2月期 第2四半期累計期間					
	第1四半期	第2四半期	第2四半期 累計	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計	
					前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比
売上高	9,227	9,071	18,299	10,543	+ 14.3	10,645	+ 17.4	21,189	+ 15.8
SM	6,217	6,107	12,324	7,422	+ 19.4	7,530	+ 23.3	14,952	+ 21.3
HC	3,010	2,964	5,974	3,120	+ 3.7	3,115	+ 5.1	6,236	+ 4.4
売上総利益	1,875	1,885	3,760	2,113	+ 12.7	2,107	+ 11.8	4,220	+ 12.2
SM	1,213	1,206	2,419	1,430	+ 17.9	1,426	+ 18.2	2,856	+ 18.0
HC	662	678	1,340	683	+ 3.2	680	+ 0.3	1,364	+ 1.7
売上総利益率	20.3	20.8	20.6	20.0	△ 0.3	19.8	△ 1.0	19.9	△ 0.7
SM	19.5	19.8	19.6	19.3	△ 0.2	18.9	△ 0.9	19.1	△ 0.5
HC	22.0	22.9	22.4	21.9	△ 0.1	21.9	△ 1.0	21.9	△ 0.5
営業利益	290	242	533	349	+ 20.1	248	+ 2.5	597	+ 12.1
経常利益	259	200	460	311	+ 19.9	208	+ 4.0	520	+ 13.0
当期純利益	161	114	276	164	+ 1.4	126	+ 10.9	290	+ 5.4

5 コストの状況

単位: 百万円、%

<連結>	2009年2月期 中間会計期間		2010年2月期 第2四半期累計期間		
		百分比		百分比	前年同期比
売上高	18,299	100.0	21,189	100.0	+ 15.8
売上総利益	3,760	20.6	4,220	19.9	+ 12.2
営業総利益	3,930	21.5	4,369	20.6	+ 11.2
販管費 (主なもの)	3,397	18.6	3,772	17.8	+ 11.0
広告宣伝費	156	0.9	154	0.7	△ 0.7
人件費	1,598	8.7	1,826	8.6	+ 14.3
地代家賃	400	2.2	444	2.1	+ 10.8
リース料	139	0.8	133	0.6	△ 4.2
水道光熱費	191	1.0	206	1.0	+ 7.7

売上総利益率: ▲0.7pt
 ・新店の売上拡大を目指した価格戦略の影響
 ・既存店は前期比: ▲0.2pt
 (売上総利益率: 20.3%)
 →低価格戦略の強化

販管费率: ▲0.8pt
人件費の効率化
 ・新店開店により新店要員の正式配属化
 (2009年2月期第2四半期累計期間は、新店要員として既存店に配属)
広告宣伝費の効率化
 ・チラシ配布地域・枚数の見直し

⑥ 設備の状況／従業員の状況

● 設備の状況

単位: 百万円、%

<連結>	2009年2月期 中間会計期間	2010年2月期 第2四半期累計期間			2009年2月期	
			前年同期比 増減額	前 年 同期比		前期比
新店・先行投資	324	357	+ 32	+10.1	759	△ 21.6
既存店活性化他	60	49	△ 11	△ 19.1	21	△ 82.1
設備投資計	385	406	+ 21	+ 5.5	780	△ 28.2
減価償却費	154	173	+ 19	+ 12.5	326	+ 0.7

東所沢店及び
荒川一丁目店
出店に係る
投資

● 従業員の状況

単位: 人

<連結>	2009年2月期 中間期末	2010年2月期 第2四半期末			2009年2月期末	
			前年同期比 増減数	期 中 増減数		前期比 増減数
社員	287	324	+ 37	+ 34	290	+22
契約・嘱託・臨時	778	923	+ 145	+ 54	869	+104
合計	1,065	1,247	+ 182	+ 88	1,159	+126

東所沢店及び
荒川一丁目店要員
+ 今後の新店要員
の早期採用

注) 契約・嘱託・臨時の人員数は、期中平均雇用人数(8時間換算)。

東所沢店開店に伴う増加

7 要約貸借対照表 ①資産の部

決算期末日が金融機関の休日であったことによるもの

単位:百万円、%

<連結>	2009年2月期 中間会計期間末		2009年2月期 会計年度末		2010年2月期 第2四半期会計期間末		
		構成比		構成比		構成比	期 中 増減額
流動資産	4,515	23.4	5,175	25.6	3,849	20.2	△ 1,326
現金及び預金	2,305	11.9	2,719	13.4	1,490	7.8	△ 1,229
たな卸資産	1,580	8.2	1,844	9.1	1,797	9.4	△ 46
固定資産	14,758	76.3	15,007	74.2	15,203	79.6	+ 196
有形固定資産	12,875	66.6	13,116	64.8	13,262	69.4	+ 146
建物及び構築物	5,009	25.9	5,396	26.7	5,280	27.7	△ 115
土地	7,696	39.8	7,696	38.0	7,696	40.3	-
無形固定資産	29	0.1	29	0.2	111	0.6	+ 82
投資その他の資産	1,853	9.6	1,861	9.2	1,829	9.6	△ 32
差入保証金	1,778	9.2	1,749	8.6	1,749	9.2	+ 0
繰延資産	64	0.3	51	0.2	38	0.2	△ 13
総資産	19,338	100.0	20,234	100.0	19,091	100.0	△ 1,143

7 要約貸借対照表 ②負債・純資産の部

決算期末日が金融機関の休日であったことによるもの

単位:百万円、%

<連結>	2009年2月期 中間会計期間末		2009年2月期 会計年度末		2010年2月期 第2四半期会計期間末		
		構成比		構成比		構成比	期中 増減額
流動負債	8,615	44.6	9,144	45.2	7,683	40.2	△ 1,460
仕入債務	4,485	23.2	4,740	23.4	3,507	18.4	△ 1,233
短期借入金	1,050	5.4	1,050	5.2	1,050	5.5	-
1年以内返済予定の 長期借入金	1,918	9.9	2,142	10.6	2,074	10.9	△ 67
固定負債	8,222	42.5	8,303	41.0	8,372	43.9	+ 68
長期借入金	7,891	40.8	7,987	39.5	8,021	42.0	+ 33
負債合計	16,838	87.1	17,448	86.2	16,056	84.1	△ 1,392
純資産合計	2,499	12.9	2,786	13.8	3,035	15.9	+ 249
負債・純資産合計	19,338	100.0	20,234	100.0	19,091	100.0	△ 1,143
有利子負債合計	10,859	56.2	11,179	55.3	11,145	58.4	△ 33
有利子負債合計(単体)	5,159	38.0	5,604	38.4	5,695	41.9	+ 91

注)有利子負債合計には、リース債務を含んでおりません。

8 要約キャッシュ・フロー計算書

前年度決算期末日が金融機関の休日であったことによる
仕入債務の減少によるもの

単位: 百万円

<連結>	2008年2月期 中間会計期間	2009年2月期 中間会計期間	2010年2月期 第2四半期累計期間	増減額
営業キャッシュ・フロー	1,062	2,277	△ 764	△ 3,042
税金等調整前四半期純利益	475	467	491	+ 23
減価償却費	160	154	173	+ 19
たな卸資産の増(▲)減額	45	80	46	△ 34
仕入債務の増減(▲)額	389	1,780	△ 1,233	△ 3,013
法人税等の支払額	△ 196	△ 266	△ 225	+ 40
投資キャッシュ・フロー	△ 83	△ 381	△ 387	△ 5
有形固定資産の取得による支出	△ 84	△ 156	△ 266	△ 109
財務キャッシュ・フロー	△ 972	△ 727	△ 78	+ 649
短期借入金の純増減(▲)額	△ 30	△ 110	-	+ 110
長期借入金の純増減(▲)額	△ 924	△ 585	△ 33	+ 552
現金及び現金同等物の増減額	7	1,169	△ 1,229	△ 2,398
現金及び現金同等物の期末残高	1,106	2,305	1,490	△ 815

▶▶▶ ● 3. 業績予想と取り組み ▶▶▶

- 1) 通期業績予想
- 2) 今後の取り組み

① 通期業績予想

単位: 百万円、%

<連結>	2008年2月期		2009年2月期		2010年2月期(予想)				
		百分比		百分比	当初予想	百分比	修正後	百分比	前期比
売上高	35,855	100.0	37,330	100.0	42,200	100.0	43,500	100.0	+ 16.5
売上総利益	7,339	20.5	7,804	20.9	8,800	20.8	8,850	20.3	+ 13.4
営業利益	1,117	3.1	1,118	3.0	1,210	2.9	1,230	2.8	+ 10.0
経常利益	925	2.6	952	2.6	1,020	2.4	1,040	2.4	+ 9.1
当期純利益	538	1.5	562	1.5	570	1.4	580	1.3	+ 3.0

修正理由

- 既存店売上高が好調に推移(第2四半期累計期間 前年同期比: +1.2%)
2009年2月期出店の新店2店舗売上高が大幅な伸び
- 重点取り組み事項の成果 ロスの削減・仕入先の見直し・生産性向上
⇒今後も継続して取り組む

前提条件

- 新規出店: 荒川一丁目店(2009年10月1日開店)
- 店舗改装: 越谷店(2009年10月23日改装オープン)
本館(HC)と食品館(SM)の売場入れ替え
⇒SMの売場面積拡大と回遊性向上により、店舗全体の売上拡大
- 下期既存店売上高: +1.0%(SM: +1.7%、HC: △0.5%)

② 今後の取り組み ①出店戦略

● 確実な需要が見込める市街地への出店

◆「国道16号線」内側の市街地・人口密集地をメインターゲットに「ドミナント出店」を推進

● 一店一店の収益性・効率性・地域性を重視し、独自の出店基準に基づいた無理のない出店

◆売場構成・品揃え・店舗サービスなど、出店地域にあわせた柔軟な店舗フォーマット

● 新規出店のスピードアップ(年間3～4店舗目標)

◆2011年度中に20店舗体制を目標

◆SM主体の都心型小型店フォーマットの確立

＜新規出店予定＞

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| 1. 赤羽志茂店(仮称) | 東京都北区 | 2010年3月開店予定 |
| 2. 等々力店(仮称) | 東京都世田谷区 | 2010年秋開店予定 |
| 3. 西葛西店(仮称) | 東京都江戸川区 | 2010年秋開店予定 |

② 今後の取り組み ②既存店の強化

● 競合店と徹底して戦えるMD戦略

◆大手各社のPB商品への徹底対抗

- ・商品ロスの削減、仕入条件の見直しにより得た原資をお客様へ還元
→低価格、大量販売により売上総利益額の確保
- ・生鮮(青果、精肉、鮮魚、惣菜)の価格・鮮度で差別化
→契約農場からの朝取り野菜販売強化(里芋など→他の野菜・果物にも拡大)
- ・NB商品の幅広い品揃え →スーパーバリューに行けば何でも揃う

◆EDLP戦略だけでなく、変化のある売場づくり

◆朝市の拡大(青果中心→様々な部門が参加する定期的イベントへ)

● マーケット変化に対応したMD戦略

◆地域のニーズに合わせて、品揃え・売価を現場レベルで決定

- エリア制導入(2009年9月)により、これまで以上に地域に密着したキメ細かい店舗運営を目指す

◆電子棚札導入(現在3店舗:今期4店舗導入予定)による、お客様サービスの向上と効率化の追求



参考情報



- 1) 売上・店舗数推移
- 2) 店舗の状況
- 3) 売場ゾーニング
- 4) 売場展開例

1 売上・店舗数推移

【1996年3月】
「株大川ホームセンター」設立(同年7月営業開始)

【2005年3月】
社名を「株スーパーバリュー」に変更
ストアブランドも「Super Value」(スーパーバリュー)に統一

【2005年9月】
「Value Plaza 上尾愛宕店」をSPC方式で出店するため
(有)上尾企画を設立
→2006年6月より、同店舗のテナント管理業務を子会社
(有)バリューサポートに移管

【2008年2月】JASDAQ上場

【2006年1月～12月】
経営の効率化と管理
の簡素化を目的として
子会社を吸収合併

新規出店

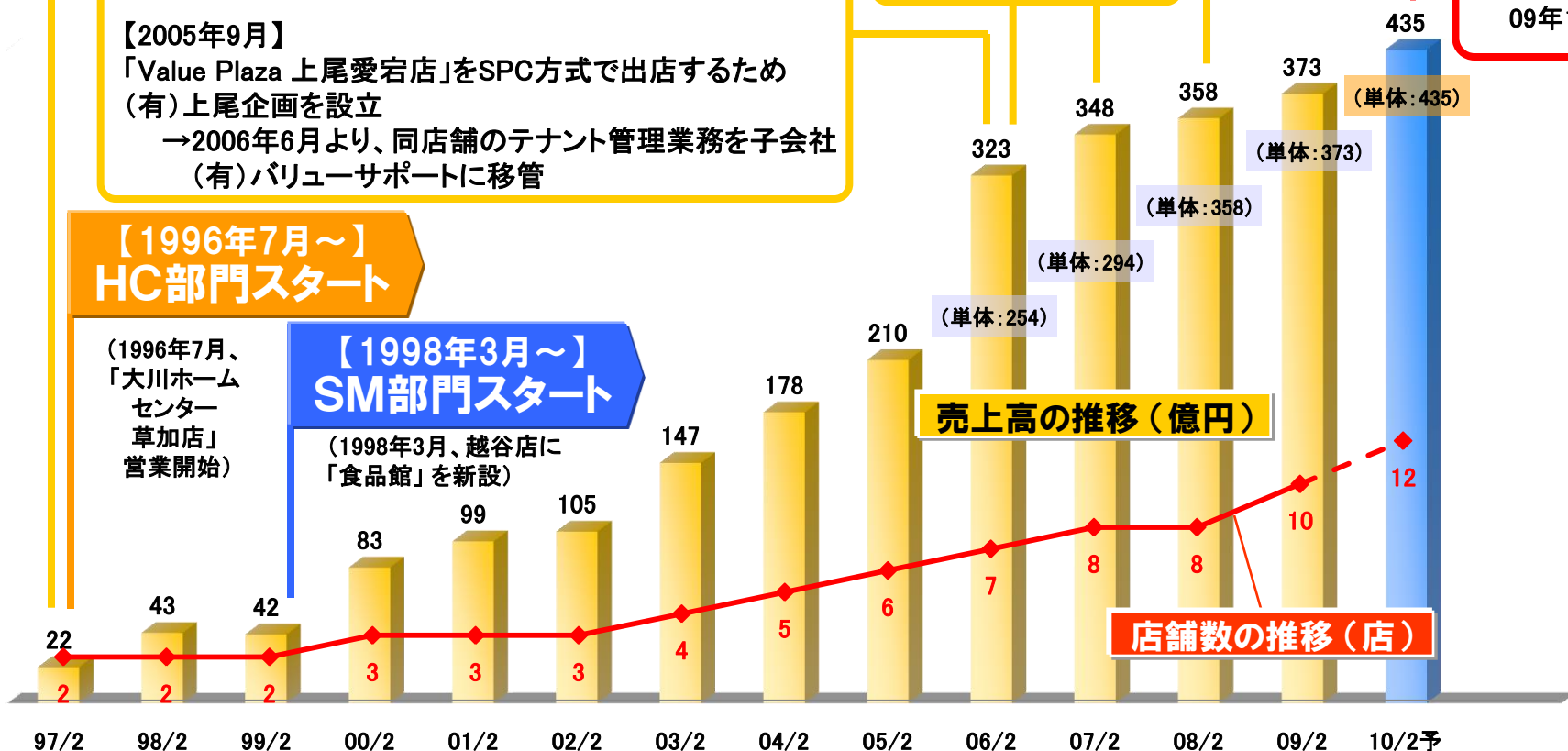
- ① 東所沢店
埼玉県所沢市
09年7月開店
- ② 荒川一丁目店
東京都荒川区
09年10月開店

【1996年7月～】 HC部門スタート

(1996年7月、
「大川ホーム
センター
草加店」
営業開始)

【1998年3月～】 SM部門スタート

(1998年3月、越谷店に
「食品館」を新設)



売上高の推移 (億円)

店舗数の推移 (店)

注: グラフは、05年2月期までは単体、06年2月期以降は連結

② 店舗の状況

売場面積	300坪(荒川一丁目店)～2,760坪(上尾愛宕店)
駐車場	45台(荒川一丁目店)～1,330台(上尾愛宕店)
営業時間	10:00*～20:00(又は21:00) *一部店舗は7時又は9時

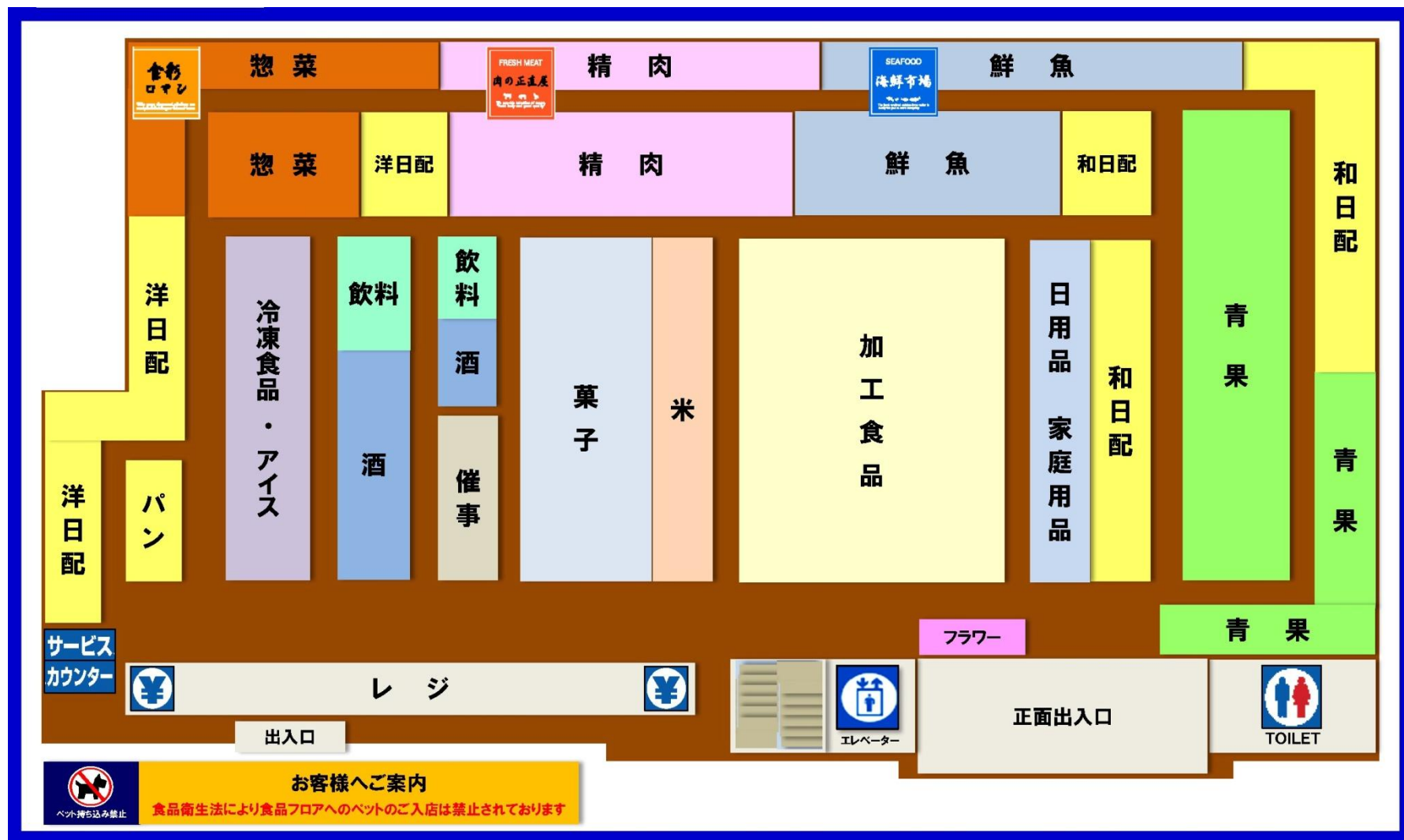


東所沢店
(2009年7月1日新規出店)

荒川一丁目店
(2009年10月1日新規出店)



3 売場ゾーニング



荒川一丁目店

4 売場展開例 ①SM部門

SM部門



鮮魚コーナー



洋日配コーナー

<朝市の状況>

杉並高井戸店



春日部武里店



④ 売場展開例 ②HC部門

HC部門

インテリアコーナー



自転車コーナー



園芸コーナー



DIY・エクステリアコーナー



ペットコーナー



灯油コーナー



この資料は投資家の参考に資するため、株式会社スーパーバリュー（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2009年10月23日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



株式会社スーパーバリュー 社長室

TEL : 048-650-5622

E-MAIL: ir@supervalue.co.jp